

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	百目木橋
施設の所在地	盛岡市上米内字米内沢	起点からの距離	0km	建設年度	1957
供用年数	63	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S31鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.47m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	3径間単純非合成H形鋼桁橋(耐候性鋼材)			
			鋼製(使用鋼材)	RCT桁→H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(3径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道米内川線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻りに利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月16日	前回点検	平成22年		
	調査結果	主桁・横桁:健全 床版:健全 下部工:健全 支承:健全 水抜きパイプ:漏水				
	健全性の診断結果	I	前回点検	III		
	劣化原因					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	-				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)			50			0.3				
対策の内容・実施時期			上部工			定期点検				

備考										
平成29年度上部工架け替え(対策費用49,710千円)										

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	畑橋
施設の所在地	盛岡市上米内字畑	起点からの距離	1.6km	建設年度	1957
供用年数	63	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S31鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.15m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	RCT桁→H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(2径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道米内川線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻りに利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日	前回点検	平成22年		
	調査結果	主桁・横桁:健全 床版:健全 下部工:健全 支承:健全 地覆:CO欠損				
	健全性の診断結果	I	前回点検	III		
	劣化原因					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	地覆:断面修復工				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	0.3百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)	46					0.3				0.3
対策の内容・実施時期	上部工					定期点検				工事

備考										
平成27年度上部工架け替え(対策費用45,329千円)										

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	長瀬橋
施設の所在地	盛岡市上米内字畑	起点からの距離	2.5km	建設年度	1957
供用年数	63	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道米内川線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻りに利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月16日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁・横桁:防食塗膜劣化 床版:健全 下部工:鉄筋露出 支承:防食塗膜劣化 路面:舗装凸凹 排水管				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁:再塗装 躯体:断面修復工 伸縮装置:取替 支承:防錆 舗装:打ち換え 排水管:取替				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	14.6百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3		1	8	
対策の内容・実施時期						定期点検		詳細設計	工事	

備考										

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	外山橋
施設の所在地	盛岡市浅岸字大志田	起点からの距離	6.6km	建設年度	1957
供用年数	63	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S31鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.85		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	RCT桁→H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(2径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道米内川線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻りに利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日	前回点検	平成22年		
	調査結果	主桁: 錆 床版: 健全 下部工: 健全 支承: 健全 地覆: CO欠損				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅲ		
	劣化原因	主桁: シール材をつたった水による錆 地覆: 車両接触				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和5年度				
	内容	地覆: 断面修復工、シール材補修				
	実施予定時期	令和5年度				
	施設の優先度	中				
	対策費用	0.3百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)		41				0.3			0.3	
対策の内容・実施時期		上部工				定期点検			補修	

備考	
平成28年度上部工架け替え(対策費用40,679千円)	

個別施設整理番号	5	林道台帳索引番号	3607	施設管理者	盛岡市
路線名	宇曾沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	宇曾沢橋
施設の所在地	盛岡市川目第1地割9	起点からの距離	0.1km	建設年度	1970
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	築川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	32.90m		幅員(車道幅員)	4.3m(3.6)
	施設の構造等	上部工型式	2径間単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	2径間		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道宇曾沢線の利用区域は、市行造林などの森林が多く存在することから、保育作業等を実施する森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月14日	前回点検	-		
	調査結果	主桁:A2側腐食 床版:A1側鉄筋露出 橋台:漏水 橋脚:梁部に欠損 伸縮装置:交換必要				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化と伸縮からの漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁・横桁:再塗装 床版・躯体:断面修復 伸縮装置交換 支承:防錆工				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	31.6百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

個別施設整理番号	6	林道台帳索引番号	4616	施設管理者	盛岡市
路線名	塗沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	塗沢橋
施設の所在地	繫字塗沢	起点からの距離	0.2km	建設年度	1971
供用年数	49	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	立石沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.0m		幅員(車道幅員)	3.7m(3.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC充実床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道塗沢線の利用区域は、私有林の森林であり、保育作業等を実施する森林組合等の林業関係者に利用されている。また、終点方向に繫温泉の源泉があり管理用通路としての機能を有する。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検	-		
	調査結果	主桁、床版:健全 橋台:遊離石灰 地覆:欠損				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	凍害による欠損				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	地覆:断面修復 路面:舗装打ち換え				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	0.5百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

個別施設整理番号	7	林道台帳索引番号	4618	施設管理者	盛岡市
路線名	築場線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	築場橋
施設の所在地	根田茂4-9-4	起点からの距離	0.02km	建設年度	1973
供用年数	47	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	根田茂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.5m		幅員(車道幅員)	4.4m(3.6)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道築場線の利用区域は、市行造林などの森林が存在することから、保育作業等を実施する林業関係者により利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年9月13日	前回点検	-		
	調査結果	主桁・横桁:軽度の腐食 床版:ひび割れ 胸壁:A1鉄筋露出,天端欠損 支承:軽度の腐食 地覆:欠損 路面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	凍害及び鉄筋腐食				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	床版・躯体:断面修復,ひび割れ注入工 地覆:打ち換え				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	3.4百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

個別施設整理番号	8	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	第一浅岸橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	4.1km	建設年度	1974
供用年数	46	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.56m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純プレテンション方式中空床版桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年9月1日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁, 横桁:健全 下部工:健全 支承:健全 防護柵支柱:腐食・舗装段差				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	伸縮装置交換, ひび割れ注入, 防護柵交換				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	8.4百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考

個別施設整理番号	9	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	小山沢橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	7.5km	建設年度	1974
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.3m		幅員(車道幅員)	4.0m(3.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年8月21日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食 床版:遊離石灰 下部工:胸壁・翼壁断面欠損 支承:防護柵:根元切断				
	健全性の診断結果	Ⅲ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	経年劣化, 凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度~4年度				
	内容	躯体:断面修復 防護柵:交換 舗装:段差解消				
	実施予定時期	令和3年度~4年度				
	施設の優先度	中				
	対策費用	0.9百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年~
対策費用(百万円)					0.3		1.4	7.6		0.3
対策の内容・実施時期					定期点検		詳細設計	工事		定期点検

備考	

個別施設整理番号	10	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	焼山口橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	7.6km	建設年度	1974
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年8月21日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆 床版: 遊離石灰 下部工: 胸壁損傷 支承: 軽微な腐食 防護柵: 根元切断				
	健全性の診断結果	II	前回点検	II		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	防護柵: 交換 躯体: 断面修復				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	2百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	11	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	えぞ森橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	9.6km	建設年度	1975
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.5m		幅員(車道幅員)	4.9m(4.1)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年8月21日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食 床版:鉄筋露出 橋台:欠損 支承:錆 路面:伸縮装置交換必要 防護柵:損傷 下部工:胸壁ひび割れ				
	健全性の診断結果	II	前回点検	II		
	劣化原因	かぶり不足によるコンクリート剥落・腐食				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	床版:断面修復工 防護柵:交換				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	1百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	12	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	中折戸橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	9.9km	建設年度	1975
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.8m		幅員(車道幅員)	5.7m(4.9)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年7月29日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食 床版:鉄筋露出 支承:錆 路面:伸縮装置交換必要 防護柵:損傷 下部工(橋台):ひび割れ小, 洗掘				
	健全性の診断結果	II	前回点検	II		
	劣化原因	経年劣化, 洗掘				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	防護柵:交換 橋台:根継工				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	0.9百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	13	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	清水橋
施設の所在地	新庄第21地割	起点からの距離	11km	建設年度	1975
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年7月29日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:健全 床版:健全 支承:健全 路面:再舗装必要 防護柵:損傷 躯体:ひび割れ, 洗掘、鉄筋露出				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	防護柵:交換 躯体:断面補修				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	2百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	14	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	熊沢橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	1.5km	建設年度	1976
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.5m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年7月30日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:錆(軽微) 床板:鉄筋露出 下部工, 支承, 路面:健全 地覆:鉄筋露出				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用					
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	15	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	白雲橋
施設の所在地	新庄第21地割	起点からの距離	12.8km	建設年度	1976
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年7月29日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆 床版: 健全 支承: 健全 路面: 健全 下部工: A1ひび割れ, 漏水 橋台背面 舗装段差				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化, 漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	防護柵交換 舗装擦り付け				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	1.3百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	16	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	五湊橋
施設の所在地	新庄第21地割	起点からの距離	13.2km	建設年度	1976
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年7月30日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆 床版: 健全 支承: 健全 路面: 健全 下部工: A1A2コンクリート欠損 地覆: 鉄筋露出, 遊離石灰, コンクリート浮き				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	躯体: 断面修復工 地覆: 打ち換え 防護柵: 交換				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	2.3百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	17	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	岩倉橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	5.5km	建設年度	1977
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.46m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年9月6日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食 床版, 下部工:健全 支承:軽度な腐食 防護柵:根本切断 橋台背面:段差				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	防護柵:交換 舗装:段差解消				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	1.4百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	18	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	上落合橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	5.9km	建設年度	1977
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年9月6日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:軽微な錆, 床版:遊離石灰 下部工(橋台、翼壁):CO欠損 支承:腐食 防護柵:根本切断				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	排水管:交換 胸壁:断面補修 ガイドレール交換 舗装:段差解消				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	1.9百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)					0.3					0.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	19	林道台帳索引番号	4614	施設管理者	盛岡市
路線名	手代木線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	手代木橋
施設の所在地	砂子沢字御蔵	起点からの距離	0.02km	建設年度	1977
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	根田茂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.6m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道手代木線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月12日	前回点検	-		
	調査結果	主桁・横桁:軽度の腐食 橋台:軽度の欠損 沓座:モルタル欠損 下部工:洗堀				
	健全性の診断結果	II	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化による腐食				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁・横桁:再塗装 沓座:モルタル補修 排水施設:交換 下部工:床固め工				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	6.8百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考

個別施設整理番号	20	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	甲子又沢橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	8.5km	建設年度	1979
供用年数	41	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	甲子又沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.54m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月14日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁、横桁:健全 下部工:鉄筋露出 支承:腐食 舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	桁:塗替 胸座・沓座:断面修復 伸縮装置:交換 支承:防錆 舗装:段差				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	7.1百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考	

個別施設整理番号	21	林道台帳索引番号	4623	施設管理者	盛岡市
路線名	高屋敷線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	高屋敷橋
施設の所在地	根田茂6-3-7	起点からの距離	0.01km	建設年度	1979
供用年数	41	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	根田茂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	22.6m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純活荷重合成H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道高屋敷線の利用区域は、森林が多く存在することから、林業関係者により利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月13日	前回点検	-		
	調査結果	主桁・横桁:軽度の腐食 胸壁:A1鉄筋露出 橋台:軽度の漏水 防護柵:ボルト脱落 路面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁・横桁:再塗装				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	1.6百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

個別施設整理番号	22	林道台帳索引番号	3606	施設管理者	盛岡市
路線名	萩内沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	萩内沢橋
施設の所在地	繋字萩内沢	起点からの距離	0.15km	建設年度	1980
供用年数	40	種別	コンクリート橋	型式	RC充実床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	萩内沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.05m		幅員(車道幅員)	4.1m(3.6)
	施設の構造等	上部工型式	RC充実床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道塗沢線の利用区域は、私有林の森林であり、保育作業等を実施する森林組合等の林業関係者に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検			
	調査結果	床版:ひび割れ, 欠損 橋台:漏水, 欠損 地覆:欠損				
	健全性の診断結果	I	前回点検			
	劣化原因	凍害による欠損				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	床版, 躯体:断面修復 伸縮装置交換 地覆:打ち換え 下部工:床固め工				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	3.8百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	23	林道台帳索引番号	4621	施設管理者	盛岡市
路線名	上大沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	上大沢橋
施設の所在地	手代森2地割	起点からの距離	1.9km	建設年度	1980
供用年数	40	種別	コンクリート橋	型式	RC場所打充実床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	大沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	RC場所打ち充実床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道上大沢線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検	-		
	調査結果	床版:鉄筋露出 防護柵:変形 地覆:欠損 路面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	-		
	劣化原因	中性化による鉄筋腐食				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度				
	内容	床版:断面修復				
	実施予定時期	令和3年度				
	施設の優先度	中				
	対策費用	0.3百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年~
対策費用(百万円)				0.3			0.3		0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検			工事		定期点検	

備考	

個別施設整理番号	24	林道台帳索引番号	1604	施設管理者	盛岡市
路線名	建石線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	小貝沢橋
施設の所在地	新庄字小貝沢	起点からの距離	0.1km	建設年度	1982
供用年数	38	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S55鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	27.2m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道建石線の利用区域は、市行造林などの森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月14日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁:腐食 横桁:健全 床版:ひびわれ, 下部工:剥離 支承:腐食 舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁・横桁:塗り替え 床版:ひび割れ補修 堅壁:断面補修 伸縮装置:交換 支承:防錆 舗装:打ち換え				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	10百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	25	林道台帳索引番号	4615	施設管理者	盛岡市
路線名	平六沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	よろこび橋
施設の所在地	新庄字小貝沢	起点からの距離	0.02km	建設年度	1987
供用年数	33	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.3m		幅員(車道幅員)	4.0m(3.0)
	施設の構造等	上部工型式	プレテンション中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道平六沢線の利用区域は、市有林・市行造林などの森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月13日	前回点検	-		
	調査結果	主桁:遊離石灰 床版:健全 翼壁:ひび割れ 橋台:漏水				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	翼壁のひび割れは鉄筋の腐食膨張のため				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	躯体:断面修復工				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	1.8百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

個別施設整理番号	26	林道台帳索引番号	3615	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	上大志田橋
施設の所在地	浅岸字大志田頭46-1	起点からの距離	2.6km	建設年度	1988
供用年数	32	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	芦ヶ沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)	
	施設の構造等	上部工型式	単純プレテンション方式中空床版橋				
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台			基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)			海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道岩神2号線の利用区域は、市有林・市行造林などの森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月20日	前回点検	平成22年4月26日			
	調査結果	主桁・横桁:健全 床版:遊離石灰少量 下部工:軽微な漏水 支承:健全 舗装:段差 地覆					
	健全性の診断結果	I	前回点検	I			
	劣化原因	経年劣化					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～					
	内容	地覆:断面修復 舗装:段差					
	実施予定時期	令和6年度～					
	施設の優先度	低					
	対策費用	0.7百万円					
管理方法	直営						

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考	

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	27	林道台帳索引番号	4611	施設管理者	盛岡市
路線名	大升沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大升沢橋
施設の所在地	根田茂3地割	起点からの距離	0.01km	建設年度	1991
供用年数	29	種別	PC橋	型式	PCプレテン中空床版橋
道路橋示方書	H2	橋格(設計荷重)	TL14	橋下条件	根田茂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	30.6m		幅員(車道幅員)	5.5m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台・逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	2径間		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道大升沢線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻りに利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検	-		
	調査結果	主桁:健全 床版:遊離石灰 橋台・橋脚:健全				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	漏水による遊離石灰				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	経過観察				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	0百万円 経過観察				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	
耐震化不要(設計者に確認)	

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	28	林道台帳索引番号	3612	施設管理者	盛岡市
路線名	砂山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	里道橋
施設の所在地	砂子沢6	起点からの距離	0.6km	建設年度	1993
供用年数	27	種別	PC橋	型式	PCプレテン中空床版橋
道路橋示方書	H2	橋格(設計荷重)	TL20	橋下条件	砂子川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	17.0m		幅員(車道幅員)	6.2m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	PCプレテン中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道砂山線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検	-		
	調査結果	床版:遊離石灰 路面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	経過観察				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	低				
	対策費用	0百万円 経過観察				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考	

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	29	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	米内沢橋
施設の所在地	上米内	起点からの距離	0.5km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.05m		幅員(車道幅員)	4.6m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純RC床版桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道米内川線の利用区域は、森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等の林業関係者により頻りに利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月20日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	床版:健全 下部工:ひび割れ 支承:健全 地覆(防護柵基礎):欠損				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	防護柵車両接触 凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	下部工:ひび割れ補修, 地覆:断面補修 防護柵:交換 舗装:打ち換え				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	2.5百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3		0.3		
対策の内容・実施時期						定期点検		工事		

備考	

個別施設整理番号	30	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	上軽町沢橋
施設の所在地	藪川	起点からの距離	15.2km	建設年度	1980
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	軽松沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.6m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月17日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁、横桁:腐食C, 床版:健全, 下部工:漏水C, 支承:腐食C, 排水管:腐食C				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化, 漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度~				
	内容	主桁・横桁:再塗装				
	実施予定時期	令和6年度~				
	施設の優先度	中				
	対策費用	4.9百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年~
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考	

個別施設整理番号	31	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	中軽町沢橋
施設の所在地	藪川	起点からの距離	16.2km	建設年度	1980
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	軽松沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.58m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月17日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁:腐食 横桁:健全 床版:鉄筋露出 下部工:漏水鉄筋露出 支承:腐食 排水管:腐食 舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化, 漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁・横桁:塗替 床版・地覆・沓座:断面修復, 伸縮装置:交換 支承:防錆 排水管:交換				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	8.6百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考	

個別施設整理番号	32	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	下軽町沢橋
施設の所在地	藪川	起点からの距離	17.3km	建設年度	1980
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47鋼道路橋設計示方書	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	軽松沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.55m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道御大堂線の利用区域は、森林が多く存在することから、森林組合等の林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月17日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食 床版:鉄筋露出 下部工:漏水ひび割れ 支承:腐食 排水管:腐食 舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化, 漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～				
	内容	主桁・横桁:再塗装 床版, 下部工:ひび割れ注入工 伸縮装置:交換 支承:防錆 舗装:段差解消 排水管:交換				
	実施予定時期	令和6年度～				
	施設の優先度	中				
	対策費用	8.4百万円				
管理方法	直営					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年～
対策費用(百万円)						0.3				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考	